

九州教育学会 第77回大会 プログラム

2025年11月22日（土）・23日（日）鹿児島大学教育学部

第1日 11月22日（土）		
8:30～9:30	受付	＜鹿児島大学 教育学部内＞ 第一講義棟 1階
9:30～12:00	自由研究発表 教育哲学部会 比較教育部会 教員養成部会	第一講義棟 103教室 第一講義棟 204教室 第一講義棟 305教室
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～13:50	総会	第一講義棟 101教室
14:00～17:30	総合部会	第一講義棟 101教室
18:00～20:00	懇親会	教育学部食堂 エデュカ
第2日 11月23日（日）		
8:30～ 9:30	受付	＜鹿児島大学 教育学部内＞ 第一講義棟 1階
9:30～11:30	自由研究発表 教育方法学部会 教育社会学部会 教育行政・社会教育部会	第一講義棟 103教室 第一講義棟 204教室 第一講義棟 305教室
11:30～13:00	昼食・休憩	
13:00～15:00	ラウンドテーブル①（教職大学院） ラウンドテーブル②（平和教育） ラウンドテーブル③（地域づくり） ラウンドテーブル④（インクルージョン）	第一講義棟 102教室 第一講義棟 103教室 第一講義棟 204教室 第一講義棟 305教室

大会参加者の皆様へ

受 付

受付は、第1日（11月22日）、第2日（11月23日）ともに8:30から行います。
場所は、鹿児島大学教育学部第一講義棟1階です。

大会参加費、懇親会費

（1）大会参加費

正会員 3,000円 学生会員 1,500円
臨時会員・ラウンドテーブル参加者（会員外） 1,500円

（2）懇親会場、会費

- ① 会場 教育学部食堂 エデュカ
- ② 会費 正会員 4,000円（職を持たない学生会員は割引予定）

※ 当日参加も受け付けますが、懇親会に参加される方は、
会場準備と学生会費設定の都合上、11月7日（金）までに
右の2次元バーコードからの申し込みにご協力をいただくと
助かります。



発表要領

（1）発表時間

- ① 個人研究発表 30分（発表20分 質疑10分）
- ② 共同研究発表 60分（発表40分 質疑20分）

（2）発表資料

発表資料は50部用意し、当日、発表部会スタッフにお渡しください。

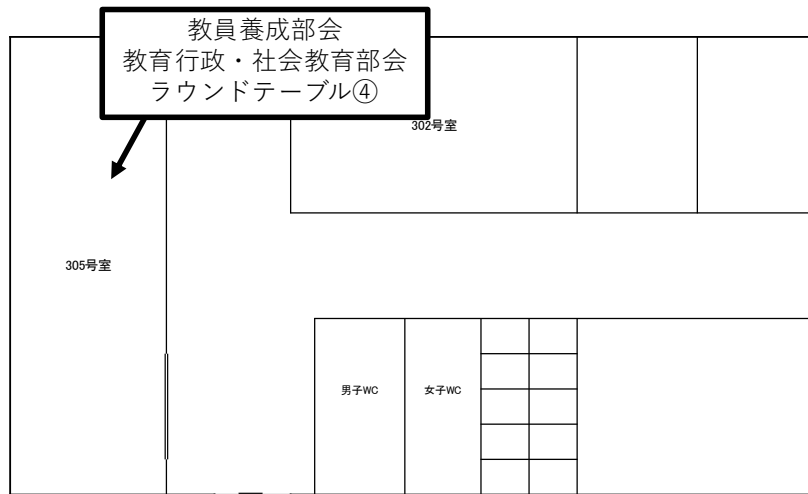
※ラウンドテーブルについては、各自のご判断でご準備をお願いいたします。

昼 食

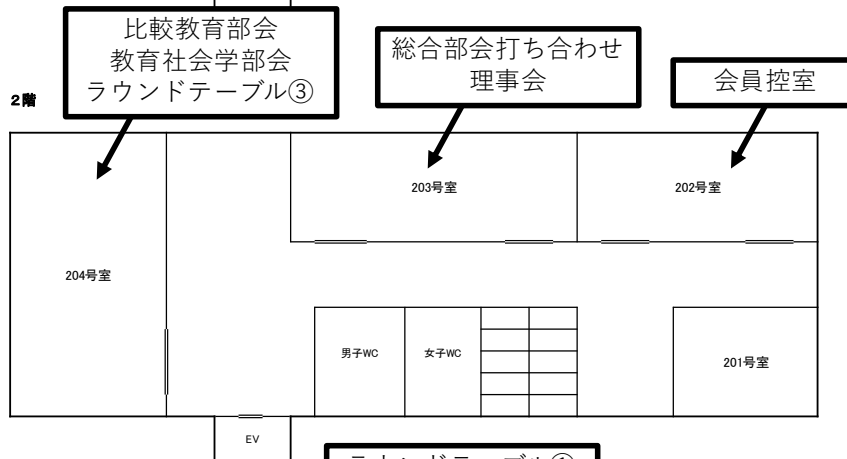
中央食堂は第一目（土曜日）のみ営業しています。
本学から徒歩圏内には、飲食店やコンビニエンスストアがございます。

【 第一講義棟教室配置図 】

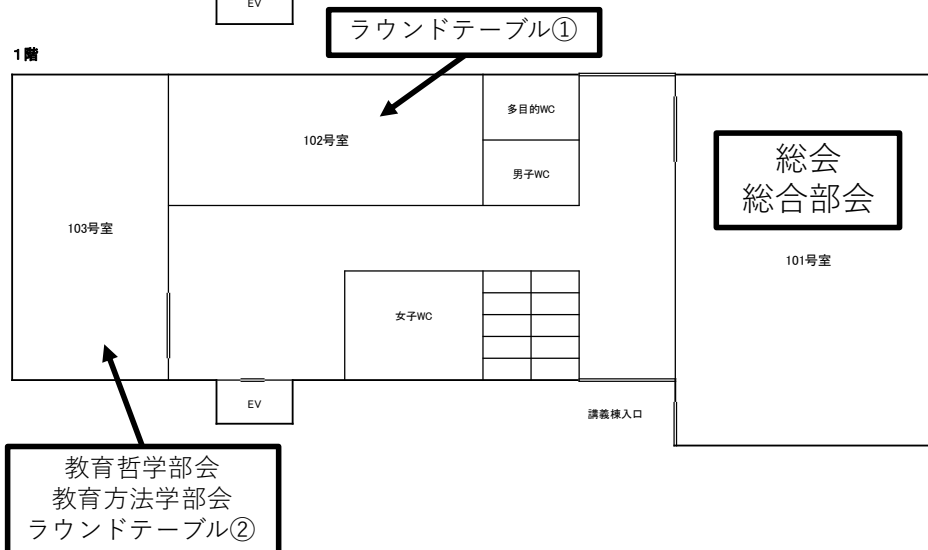
3階



2階



1階



11 月 22 日（土）自由研究発表

教育哲学部会 会場：103 教室

司会：椋木 香子（宮崎大学）

【 1 】 9:30～10:00

プラトンは教師ソクラテスをどう描いたか
—大ヒippias篇から—

東 敏徳（幼児教育専門学校（元））

【 2 】 10:00～10:30

カントの人間学の実用性について
—プラトナー批判に着目して—

塚野 慧星（福岡女子大学）

【 3 】 10:30～11:00

教育学のグローバル・ヒストリーに向けて：
教育学における学問ディシプリン志向と実践学志向のアンビヴァレンス

鈴木 篤（九州大学）

【 4 】 11:00～11:30

防災教育において教授される市民性を育む道德的価値
—日本とフィリピンにおける意識調査分析を通して—

長濱 博文（桐蔭横浜大学）

11:30～12:00 総括討論

比較教育部会 会場：204 教室

司会：朴 永奎（長崎外国語大学）

【 1 】 9:30～10:00

OECD のエージェンシー概念から見る教育実践の考察

—福岡女子商業高校 100 分授業とカリキュラム・マネジメントを通して

緒方 泰士（九州大学大学院・福岡女子商業高校）

【 2 】 10:00～10:30

国際バカロレアの知の理論（Theory of Knowledge）に基づく探究

学習の評価に関する研究

—ARG の学習評価論を枠組みとして—

浅越 天真（九州大学大学院）

【 3 】 10:30～11:00

外国につながる生徒のホリスティックな成長を支える学校教育のあり方

～韓国外国人集住地域 I 市の経年変化の分析から～

金 美連（佐賀大学）

【 4 】 11:00～11:30

中国における大学のキャリア教育推進とカリキュラム構築に関する考察

神崎 明坤（西南女学院大学）

11:30～12:00 総括討論

11 月 22 日（土）自由研究発表

教員養成部会 会場：305 教室

司会：清水 良彦（九州大学）

【 1 】 9:30～10:00

「行為についての省察」概念の理論的再構成

——D. A. ショーンの「実践の現象学」を手がかりにして——

茂見 剛（尚絅大学）

【 2 】 10:00～11:00

省察と成長

——ドナルド・A・ショーンの「省察」の可能性

○テイ ハクエイ（鹿児島大学大学院）

○平野 拓朗（鹿児島大学）

【 3 】 11:00～11:30

現職教師のキャリア形成を促す学習モデルについて

八和田 清秀（九州大学ビジネススクール）

11:30～12:00 総括討論

101 教室 14:00～17:30

変わりゆく学校の機能や役割を問い直す —教育学研究諸領域から探る学校の機能と役割—

報告者

池田 竜介 （九州産業大学）

卯月 由佳 （国立教育政策研究所）

佐喜本 愛 （九州大学）

司会

大村 綾 （西九州大学）

波多江 俊介 （熊本大学）

コメンテーター

濱沖 敢太郎 （鹿児島大学）

企画趣旨説明

鈴木 篤 （九州大学）

テーマ設定の趣旨

近年、全国的な教員不足や不登校児童生徒の増加、国際競争の激化をはじめとする様々の変化への対応として、教員の働き方改革やその一環としての部活動の地域移行、「個別最適な学びと協働的な学び」の推進、ICT 機器の活用、授業形態のフレキシブル化、授業時間の弾力的運用など、様々な改革が進められている。

そのような中、これまでの学校のあり方を抜本的に見直し、従来、学校が担ってきた機能を意図的に縮小させようとする動きや、新たな取り組みを取り入れた結果として、意図せずしてこれまでの学校における取り組みや機能を縮小・変容させつつある動きなど、日本の学校がこれまで担ってきた様々な機能や役割にも変化が生じている。

しかし、これまでの日本の学校教育は世界的に見ても類を見ないものであり、その役割があまりに過大であったという点には反省が必要だとしても、現在の改革の中で意図せずして特段の議論もないままにその機能を縮小させたり、変容させたりすることになれば、結果的に、これまで学校が担ってきた各種の重要な機能や役割をも失わせることにもつながりかねないだろう。

これまで、日本の子どもたちの多くは学校に通い、集団で生活する中で、様々なことを学び、友人を作り、各種の危険から保護されてきた。そうした学校が提供してくれた様々な機会が、各自の家庭環境の違いによらない学びや経験を生み出してくれていたことは、新型コロナ禍において多くの人々にとって明確になったところであろう。だが、そうした公共財ともいえる学校の姿が変われば、当然ながら多くの子どもたちの生活も様々な影響を受けることになる。

そこで、本総合部会では、学校（学校教育）が持つ可視的・不可視的な機能に目を向け、現在の学校（学校教育）がいかなる役割を果たしてきたのか、そしてそれらが縮小・変容されることで、どのような影響が生じかねないのか、解明を行いたい。その際、教育学に関する総合学会である本学会の強みを生かし、教育学研究の諸領域に学問的な足場を置く登壇者にそれぞれ異なる角度から検討を行ってもらうことで、学校が担ってきた機能や役割とは何かを可視化し、現在の学校を取り巻く変化がもたらす影響についても学問的な議論を試みる。

教育方法学部会 会場：103 教室

司会：内山 仁（鹿児島国際大学）

【 1 】 9:30～10:00

協同的な学びにおけるつぶやきの役割

—ヴィゴツキーの自己中心のことばに着目して—

○安永 海人（鹿児島大学大学院）

平野 拓朗（鹿児島大学）

【 2 】 10:00～10:30

授業実践における学習内容の展開

—授業分析によるカリキュラムの質的研究の試み—

田代 裕一（西南学院大学）

【 3 】 10:30～11:00

科目「倫理」の指導に関する認識の違いについて

—倫理履修経験の有無に着目して—

下地 貴樹（九州大学）

11:00～11:30 総括討論

11 月 23 日（日）自由研究発表

教育社会学部会 会場：204 教室

司会：大江 将貴（北九州市立大学）

【 1 】 9:30～10:00

教室内の発生音に関する研究

—教師の語りを通して—

岩井 則義（西南学院大学大学院）

【 2 】 10:00～10:30

高等学校看護教員の資質・能力に関する質的調査

—教育実践と内省の語りに着目して—

竹原 春花（福岡大学大学院）

【 3 】 10:30～11:00

高等専修学校の生徒層に関する研究

三好 佳菜（福岡大学大学院）

11:00～11:30 総括討論

教育行政・社会教育部会

会場：305 教室

司会：植村 秀人（南九州大学）

【 1 】 9:30～10:00

小中学校の長期休業における子どもの「スタディ・ライフ・
バランス」への対処

殷 爽（山口東京理科大学）

【 2 】 10:00～10:30

定時制高校における包摂と排除

富松 早智（九州大学大学院）

【 3 】 10:30～11:00

幼児期における伝統文化の継承と課題：

「晴れの日」と「日常」の文化的活動の視点から

佐久本 邦華（沖縄キリスト教短期大学）

11:00～11:30 総括討論

102 教室 13:00～15:00

教職大学院における「研究」の今（その2）

【発表者】

佐藤 誠（鹿児島大学）

廣瀬 真琴（鹿児島大学）

【企画提案者】

植村 秀人（南九州大学）

岡 幸江（九州大学）

野々村 淑子（上智大学）

雪丸 武彦（西南学院大学）

杉原 薫（鹿児島大学）

103 教室 13:00～15:00

道徳科を中心とした平和教育の実践と展望

【発表者】

中村 亜紀（宮崎市立宮崎西中学校）

谷口 夢歩（宮崎市立青島小学校）

磯崎 奏良（宮崎大学大学院）

【企画提案者】

棕木 香子（宮崎大学）

11 月 23 日（日）ラウンドテーブル③

204 教室 13:00～15:00

人口減少社会における教育を中核に据えた地域づくり
—日韓の事例分析—

【発表者】

福井 美空（九州大学大学院）

鄭 脩娟（九州産業大学）

元兼 正浩（九州大学）

【企画提案者】

元兼 正浩（九州大学）

305 教室 13:00～15:00

アート・地域・テクノロジーによる
インクルージョンの実践

【発表者】

宮本 聡（九州大学）

池山 草馬（九州大学）

溝内 亮佑（九州大学）

坂本 祥章（九州大学） 他

【企画提案者】

藤田 雄飛（九州大学）

◆◆◆九州教育学会第 77 回大会準備委員会◆◆◆

委員長：金子 満 鹿児島大学
事務局長：高谷 哲也 鹿児島大学
事務局員：杉原 薫 鹿児島大学
事務局員：平野 拓朗 鹿児島大学
事務局員：濱沖 敢太郎 鹿児島大学
事務局員：辻 慎一郎 鹿児島国際大学

◆◆◆お問い合わせ先◆◆◆

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1 丁目 20 番 6 号

鹿児島大学教育学部内

九州教育学会第 77 回大会準備委員会事務局（高谷研究室）

メール：77kagoshima@gmail.com